

製品名: ZNF384 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab20262**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | 人間、ネズミ |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000 |
| 分子量 | 64kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | ZNF384 ZNF384; CAGH1; CIZ; NMP4; TNRC1; Zinc finger protein 384; CAG repeat protein 1; CAS- |
| 別名 | interacting zinc finger protein; Nuclear matrix transcription factor 4; Nuclear matrix protein 4; Trinucleotide repeat-containing gene 1 protein |
| 遺伝子 ID | 171017.0 |
| SwissProt ID | Q8TF68 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト ZNF384 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50 |

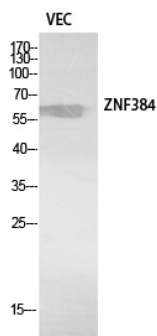
背景

ジンクフィンガータンパク質 384 (ZNF384) Homo sapiens この遺伝子は C2H2 タイプのジンクフィンガータンパク質をコードしており、転写因子として機能する可能性があります。この遺伝子には、連続するグルタミン残基をコードする長い CAG トリヌクレオチド反復配列も含まれています。このタンパク質は、細胞外マトリックス遺伝子 MMP1、MMP3、MMP7、および COL1A1 のプロモーターに結合して制御するようです。マウスの研究では、核マトリックス転写因子 (NP/NMP4) は、細胞外マトリックスのリモデリング中に細胞の構築と機能を結び付ける一般的な機械的経路の一部である可能性が示唆されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。急性白血病では、この遺伝子と、22 番染色体のユーイング肉腫遺伝子 EWSR1、17 番染色体の TAF15 遺伝子、または 19 番染色体の TCF3 (E2A) 遺伝子との反復性転座が観察されています。関連する擬似遺伝子が 7 番染色体上に同定されている。[RefSeq 提供、2011 年 4 月],代替製品: 追加のアイソフォームが存在する可能性がある,注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。機能: コンセンサス DNA 配列 [GC]AAAAA に結合する転写因子。MMP1、MMP3、MMP7、COL1A1 のプロモーターに結合し、制御すると考えられる。類似性: krueppel C2H2 型ジンクフィンガータンパク質ファミリーに属する。類似性: 8 つの C2H2 型ジンクフィンガーを含む。サブユニット: BCAR1 と相互作用する。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; ドメインファミリー; ジンクフィンガー; 転写因子

画像データ



ZNF384 ポリクローナル抗体を使用した VEC 細胞のウエスタン プロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。